



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUBS
TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANI EVER RIGHT

The Y's Men's Club of Kyoto Tops



廣田隆治会長主題：思いを込めて 分かち合いと奉仕に感謝

- 国際主題 The Power of One 一つとなる力
- アジア区主題 The Power of One 一つとなる力
- 西日本区主題 すべてのいのちを大切に - いのち・平和・環境 -
- 京都部主題 豊かな心 熱き思い - 555実現に向けて -
- メネット主題 「メネットのねがい」を広げ、その喜びを共に分かちあいましょ

会長：廣田 隆治
副会長：千賀 俊男
倉 卓也
書記：加藤 清一
東田 吉秀
会計：新山 堅一



エレミヤ書 6 - 16

舞田智之ys選

「さまざまな道に立って、眺めよ。昔からの道に問いかけてみよ。どれが、幸いに至る道か、と。その道を歩み、魂に安らぎを得よ。」



「YMCAリーダー卒業祝会に寄せて」

Yサ委員長 平間 正晃 ys

リーダーの皆さん卒業おめでとうございます。トップスクラブー同心よりお祝い申し上げます。今日皆さんの晴れ姿を見せていただき、華やいだ また幸せな気持ちにさせていただきました。

皆さんの活躍はワイズー同いつも遅く見えておりました。小さな子供達を指導する姿やボランティアで病気の子供達を励ます姿、また地震や台風での被災者に対する救援募金、YMCAの行事への参加とどれをとっても素晴らしい活動です。皆さんがリーダーとして活動されたことは、学生時代だけのものではなく社会にでも立派に通用していくものです。思いやりや慈しみの心が今の日本には欠けているのは大人達はみんな解っているのです。解っていながらどうしようもない不甲斐なさに今の大人たちは本当に情けない気持ちを持っています。皆さんはこれから社会に出てもリーダー時代に心に持った気持ちを忘れずにいてください。幼い子供達を導いたり、不幸にして身体にハンデを負った方々を思いやる気持ち、その心はきっとこの国を良い方向に導いてくれるはず。政治がしっかりしていれば、たとえ不運は免れずとも不運によってもたらされる不幸は救済できるはずなのです。不幸にして重い病気になったり身体にハンデを負って生まれたり地震や台風で悲しい目に遭うことは誰にでも起こりうることで、その後の苦勞があるというのは政治が未熟であるが上の人災です。また大きな病院で幼くして大病を患う子供達に触れ、その命が消えてしまうのを見たり聞いたりして自分の力の無さを感じた方もおられた事でしょう。でも限りある命が虚しいのではなく、限りある命であるからこそ輝いていることも解ってもらえたことと思います。元気よく一緒にスポーツをした子供達も、消えてしまった小さな命も元気をもらった被災地の子供達もみんな諸君に感謝の気持ちを抱いていることでしょう。

卒業後はそれぞれの道に進まれるとは思いますが何処にいてもYMCAリーダーとして活躍していた頃の純粋な気持ちを忘れないでいてください。「青い奴だ」とか「生真面目すぎる」とか言う年寄りもいることでしょう。しかし時はきっと君たちに味方するはず。どんな事にもめげず素晴らしい人生を歩んでください。ワイズメンズクラブー同はあなた方と同じ空間ですごせたことを誇りに思います。最後になりますが大きな声でお礼を言います。ありがとうそして卒業おめでとう。

エコ標語

☆大切だよ ママが教えるエコライフ
☆エコロジー 支える心 モラロジー (資料より引用) 小林 郁佳

4月強調月間

Yサ・ASF

ASFの理解とYMCAサービスの徹底を!



3月報告	第一例会出席		BFポイント		スマイル		ファンド		献 血	
	メンバー数 (広義会員1名含)	出席メンバー	現金	0円	3月	0円	3月	0円	3月	0cc
	22名	22名	切手							
	0名	0名								
	0名	0名								
	0名	0名								
	91.0%	91.0%	累計	0円	累計	38,000円	収益累計	633,347円	累計	400cc

リトセン・チャリティゴルフ大会

2010.3.21
東田吉秀 ys

振り返る事、3月21日 ベアズパウージャパンカントリークラブにてリトセン・チャリティゴルフ大会が、ウイングクラブホストの元 賑々しく行われました。

当日は、強風と黄砂の中54人のメンバーとゲストが優勝目指して熱いデットヒートを(モトイ)笑い有り、涙有り、鼻水有り楽しく1日を過ごしました。

当クラブからは、新山Y's・笠井Y's・宮尾Y's・牧野Y's・と小生が参加いたしました。特に宮尾Y's(以降、絶対王者)に措かれましては、昨年の団体2位(0.2point差)の立役者でありディフェンディングチャンピオンでもあります。私たちメンバーは、絶対王者の活躍を心より期待しておりましたが、王者も人の子、朝の1番で8朝の最終で9を叩き、中国産の浮遊物の前に敢え無く木端微塵!落胆していたその時、セルシオに乗った(笠井Y'sも同乗で来場)我らが重鎮新山Y'sが89の好スコア!“バリバリヤー”の発言と共に3位でフィニッシュ!個人優勝は無かったが団体2位を勝ち取る事ができました。

結果、団体優勝はウイングクラブ チャリティ額は14万円ぐらい(正式発表に至らず)です。来季は私たちも中堅クラブの仲間入り。沢山のメンバーで参加しこの大会を熱くもりあげましょう!

最後に笠井Y'sの独り言“いきしの車もうるさかったけど、帰りはもっとうるさいな”



救命講習例会

2010.3.10
森田 茂美 ys

3月10日の例会は、中京消防署4階講堂での「普通救命講習」でした。以前に受講して修了証を持っているメンバーも何人かはいましたが、消防職員宮田氏の指導で、改めて「119番」通報した後の救急隊が到着するまでの応急手当の重要さを教えられました。その中の心肺蘇生法の手順や「AED」の使用法などを訓練用の人形で全員が体験しました。

こんかいの講習で「AED」は電気ショックを与えて心臓を動かすのではなく「心室細動」を電気ショックで取り除いて心臓のリズムを正常に戻すものだという事を知りました。

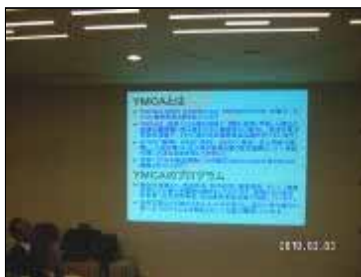
今回の例会受講者はゲストのウエストクラブ3名を含めて29名でした。「生命」の大切さを改めて感じた講習でした。その後移動しての食事で楽しいひと時を過ごしました。



入会オリエンテーション

2010.3.2
藤田 正康 ys

ウエスティン都ホテルにて、トップスオリエンテーション史上最多のメンバーゲスト10名(内、入会予定者6名)を迎えた。4名のメンバー候補はよりよくワイズダムの理解を得てもらおう為、出席いただいた。また、メンバーも17名の出席という熱気溢れるオリエンテーションになり河原EMC委員長の例会形式できっちり司会進行したいとの気持ち強く緊張感のある内容になった。定刻7:00開会、会長挨拶、出席者全員の自己紹介に続き、「YMCAについて」船木ys、「ワイズメンズクラブについて」新山兼司ysによるレクチャーが行われた。いつも思うのだが初心に帰るいい時間が持てたなと感じたのは私だけだろうか、。最後に廣田会長により入会の意思確認がされ、6名《西浦功(いさお)さん、野原裕隆さん、寺内陽子さん、森田茂美さん、八木薫史(まさし)さん、石田博紀さん》の方より入会の快諾を得た。私たちメンバーの責任の重さを感じた瞬間であった。特に6名同時入会は初めてのことで気持ち引き締め、クラブ内充実・気配りなど、全員でフォローの気持ちを共有しなければの思い強く閉会となった。





何とか と思っても、華道家と詩人のコラボ？昼食付きとはいえ6,000円の会費！！ 主婦の立場としては別世界のここのようです。ホテルでなくてももっとカジュアルなものでも 今さら言っても仕方ない そんな思いのまま当日を迎えてしまいました。

少し早めに会場に着いたのですが、バザーコーナーは既に沢山の人が出来、追加で持参した洋酒も、またたく間に売れてしまいました。大盛況！ホッとしました。又、瑞穂の間では、壇上に大きな花器が準備されていて、着物姿の人もちらほら。優雅な気分になることができました。

今回のメインであるパフォーマンスは、少し物足りなかったのですが（生ける所作だけでなく、花を切る所作から見たかった）詩の朗読といけ花という不思議な世界に、知らず知らず魅了されました。又、お二人のトークでは、笹岡氏のいけ花を通して、人間の美しい生き方を考えさせられたという話（花にも顔がある。顔を光がさす方（天）へ向けると、自然で美しい花姿となる。人はいつも上を向いて生活していると、姿勢正しく前向きな生き方、つまり美しい生き方が出来る等）や、Chori（千）氏の、詩人になったことで、言葉の大切さ、伝え方を考えるようになったという話（同じ言葉でも受け取る人によって感じ方が違う等）は改めて自分の生活を振り返ることが出来ました。

今、若い世代の人達を見ていると、言葉や身だしなみが乱れてきているように思えます。このような話を、そのような人達に、もっともっと聞かせたいものだと思います。



滋賀蒲生野クラブ20周年例会

2010.1.10~11
乙坂 優次 ys

ワイズの輪をテーマに掲げて、滋賀蒲生野ワイズメンズクラブ20周年記念例会が近江八幡駅前のホテルニューオウミで北は東日本区から南は九州熊本から総勢220余名を迎えて盛大に開催されました。

オープニングでは古代の皇子と姫が大きな花樹の束を抱え静々と会場を進み、現代的な電子ピアノやギターでのBGMを背景に、ステージに据えられた大きな花器に1本ずつ心を込めて挿していき、音楽が止んだときには高さ2メートル程の生け花作品を作り上げるというもので、皇子は中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）元びわこ部部長の三原茂靖ワイズが皇子になりきっての熱演でした。続いてインド音楽の演奏、シタールとタブラという珍しい楽器で素晴らしい音色を聞かせて頂きました。

式典ではワイズの輪の紹介を提唱者の井之上温代ワイズによりなされ、20年で225名の輪になったとの報告で会場は拍手の嵐が吹き荒れました。ワイズの輪とは、毎月のブリテンに各地のワイズメンの執筆記事を掲載するというもので執筆者が次号の執筆者を紹介していく方法で繋げていく、まさしく輪なのです。初号は1991年7月の今は亡き大阪クラブ岩越重雄ワイズに始まり、225人目は大阪泉北クラブ飯沼真ワイズまでの絆が大輪となって輝いていました。

記念食卓では美味しい料理を頂きながら、多くのワイズの友と語り飲み交わして親交を深め、尚一層ワイズの絆を確かめ合う事ができたように思います。我がトップスも数年すれば20年、その時には部会をもしのぐ人員で、心に誇れる記念例会にしたいものだと思いますながら会場を後に小雨降る中、近江八幡駅へと向いました。参加メンバーは新山兼司ワイズと加藤隆司ワイズそして私の3名、会場へは新山ワイズの車に便乗させて頂き、開会1時間前にホテルに到着、コーヒータ임을ゆっくりと取ることができました。新山ワイズに感謝です。

2009年度次期会長・主査研修会に参加して

2010.1.10~11
新山 兼司 ys

3月13日(土)~14日(日)迄チサンホテル新大阪にて、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区2009年度次期会長・主査研修会が開催されました。トップスクラブからは、私と次期京都部EMC事業主査の河原ワイズと、次期会長の倉ワイズの3名で参加しました。

私は次期EMC事業主任として、活動方針発表を5分間でしなくてはなりません。短い5分間で皆様方に上手く伝えられるか？本当に心配でした。そこで主任方針の資料を棒読みするのではなく、自分が一番何を言いたいのかを頭の中で整理して、胸を張って自信を持って顔を上げ、大きな声で堂々と話す姿勢で臨みました。西日本区において会員増強はたいへん大きなテーマです。その事業主任が頭を下げて小さな声で物を言っている様では、会員増強なんて出来る訳がないと思ったからです。主任にしても、部長や主査や会長にしても、リーダーたる人は常に自信を持って話すことが大切です。自信を持つためには、この研修会での内容を再確認して、7月から良いスタートが出来るように今の準備期間が最も大切です。しっかり準備万端にして、皆様方と共に良いスタートをきりましょう。

2日間の実りある研修会を終え、山科の焼肉東にてトップスクラブのメンバーが癒してくれました。グローバルクラブのメンバーの方と、合同で夕食会を行った為たいへん盛り上がりしました。

トップスクラブは4月に6名の新入会員入会式を行います。次期は、西日本区EMC事業主任・京都部EMC事業主査を輩出するクラブとして、メンバー一同が会員増強に励んでいます。そのみんなの熱気思いを胸に受け止め、西日本区EMC事業主任としての任務を果たしたいと思います。

2009年度次期会長・主査研修会の参加者は、233名でした。



「一年を計るものは花を育て、十年を計るものは木を育て、百年を計るものは人を育てる」

YMCAの使命は、言うまでもなく「人を育てる」ことにあります。今春も子どもたちや青年たちが新たな参加者、生徒あるいはボランティアリーダーとして集ってきます。大きな可能性を持った一人ひとりが、それぞれの興味や関心によってYMCAにやってきます。三条本館、リトリートセンター、サバエキャンプ場など施設での場面をはじめ、チャリティーランや街頭募金といったプログラムの際に、ぜひ彼ら彼女たちの成長を見守り、おささえいただきますようお願いいたします。一人ひとりの笑顔と成長が、私たちの願いであり喜びであり、ワイズメンズクラブとYMCAの拠って立つものであります。

1. 卒業リーダー祝会ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申し上げます。おかげさまで今年も30名のボランティアリーダーが巣立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。いただきました寄付金は記念文集や写真、祝会の運営費として用いさせていただきます。ありがとうございました。

2. 奉仕活動基金のご協力をお願い

奉仕活動基金は、地域における奉仕活動、障がいを持つ人々への援助、ボランティアリーダーの養成など、さまざまな活動に用いさせていただきます。今年も下記のとおり行いますので、ご協力くださいませようをお願いいたします。

キャンペーン期間 2010年4月～6月

1口募金額 1,000円(何口でも結構です。)

納入方法 京都YMCA受付または、郵便振替で

3. 第6回 京都YMCA かもがわ チャリティーラン

参加者・スポンサー(協賛金)募集中!

チャリティーランは、参加費が寄付金となる大会です。チームで力をあわせ楽しみながら走るこのチャリティーランで集められた募金は、YMCAの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

日時 5月16日(日)午前9時～午後3時 雨天決行場所 鴨川公園(特設コース:北大路橋～出雲路橋1週

1.7km / 北山橋～出町橋1週5.1km)

種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2,000円) / グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円) / 一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円:学生・生徒1名1,000円) / ペアラン(1チーム1,000円)

スポンサー募集 趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。

協賛金 一口10,000円(企業・団体)、5,000円(個人)

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

4. リトリートセンター第11回夜桜フェスタ開催

「夜桜フェスタ」を今年も開催します。ライトアップされた幻想的な八重桜の下で、様々なイベントを楽しみましょう。

とき 2010年4月18日(日)午後5時30分～8時

ところ 京都YMCAリトリートセンター

参加費 大人(中学生以上)2,000円・小学生1,000円・幼児無料 チケットは三条本館にて販売中

JR宇治・京阪宇治駅から送迎あり事前に事務局にお申込みください。

5. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第38回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時: 4月17日(土) 午後7時～9時

場所: 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費: 300円/人(お茶代等)

老老介護について 少子高齢化社会になるにつれて、高齢者が高齢者を介護しないと叫ぶ状況、いわゆる老老介護が増えています。高齢者が高齢者を介護するには、体力は衰え、既に定年退職して金銭的にも恵まれない人も多いと思います。又介護の疲れなどで、家族が共倒れする危険性など、社会問題になっています。老老介護をなくすことはできなくても、負担を軽減すること、その為に今何が必要なのか、何が一番問題なのか、このことについて一緒に考えていきましょう。又、簡単な介護の方法についても、実技を通して学びたいと思います。

講師 尼田明子(京都YMCA国際福祉専門学校 介護福祉学科主任教員・介護福祉士)

日時 4月10日(土)午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費: 300円/人(お茶代等)

申し込みは電話(075-231-4388)又は

vb@kyotoymca.or.jp

スケジュール

4月・5月

- 4月10日(土) 役員研修会
～11日(日)
- 4月14日(水) Yサアワー例会
- 4月18日(日) YYフォーラム
リトセン夜桜フェスタ
- 4月28日(水) 役員会
- 5月12日(水) CATT合同例会
- 5月16日(日) 鴨川チャリティーラン
- 5月26日(水) 役員会